EPSON

販売店様 / 取り付けご担当者様へ

～プリンタを設置する前に～

LP-9100専用のインストレーションキットです。

プリンタを設置する前に必ず本ROMモジュールをプリンタに取り付けてください。

Printed in Japan XX.XX-XX

4045980-00
O01

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。また、本製品以外のプリンタの取扱説明書に基づいて本製品を操作したり印刷すると、故障や事故の原因になりますのでご注意ください。
本書および製品添付の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品添付の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、アース接続して使用することを示しています。

安全上のご注意

⚠警告	
	煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。
	異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。 感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
	通風口など開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。 感電・火災の原因となります。
	取扱説明書で指示されている以外の分解は行わないでください。 安全装置が損傷し、レーザー光漏れ・定着器の異常加熱・高圧部での感電などの事故のおそれがあります。
	電源プラグは、異物が付着した状態で使用しないでください。 取り扱いを誤ると火災の原因となります。 電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。 • ホコリなどの異物が付着したまま使用しない • ホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
	電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	電源ケーブルのたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC 100V）から電源を直接取ってください。

⚠警告

添付されている電源ケーブル以外の電源ケーブルは使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

添付されている電源ケーブルを、他の機器で使用しないでください。
感電・火災の原因となります。

破損した電源ケーブルを使用しないでください。
感電・火災の原因となります。
電源ケーブルを取り扱う際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない
- 電源ケーブルの上に重い物を載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

漏電事故の防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。

次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

ETカートリッジを、火の中に入れないでください。
トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。また、使用済みのETカートリッジは回収しておりますのでご協力をお願いします。

こぼれたトナーは電気掃除機で吸い取らないでください。
こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、内部に吸い込まれたトナーが電気接点の火花などにより粉じん発火する可能性があります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などで拭き取ってください。

⚠注意

	小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
	ET カートリッジは子供の手の届く場所に保管しないでください。
	不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがをする危険があります。
	湿気やホコリの多い場所に置かないでください。 感電・火災の危険があります。
	他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。 落下によって、そばにいる人がけがをする危険があります。
	本製品の上に乗ったり、重い物を置かないでください。 特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがをする危険があります。
	本製品は重いので（約 20kg）、開梱や移動の際、1 人で運ばないでください。 必ず 2 人以上で運んでください。
	本製品の通風口をふさがないでください。 通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の危険や故障の原因となります。次のような場所には設置しないでください。 • 押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ • じゅうたんや布団の上 壁際に設置する場合は、壁から右側 10cm、左側 20cm 以上のすき間をあけてください。また、毛布やテーブルクロスのような布はかけないでください。
	長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠注意

各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
配線を誤ると、火災の危険があります。

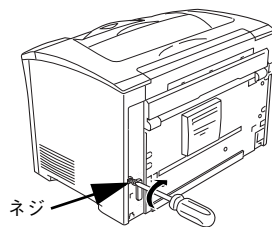
本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。
電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
電源ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷付いて、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

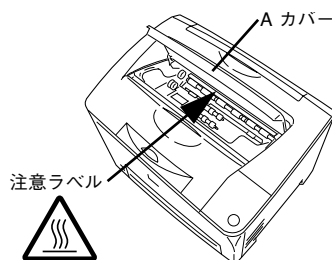
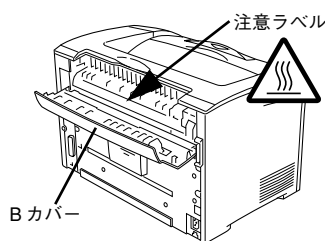
本製品を移動する場合は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。

インターフェイスケーブルやオプション製品を装着するときは､必ず本機の電源スイッチをオフにして、電源ケーブルを抜いてから行ってください。
感電の原因となることがあります。

PostScript3 ROMモジュールや増設メモリを装着するときに、プリンタ本体の右カバーを一旦取り外し、再度取り付けたときは、右カバー固定用ネジは確実に締め付けてください。
ネジの締め付けが不十分だと、プリンタの移動や運搬時などに右カバーが外れてけがや損傷の危険があります。

PostScript3 ROMモジュールや増設メモリを装着するときは、表裏や前後を間違えないでください。
間違えて装着すると、故障の原因となります。取扱説明書の指示に従って、正しく装着してください。

⚠注意

紙詰まりの状態で放置しないでください。
定着器が加熱し、発煙・発火の原因となります。

使用中にプリンタのAカバーを開けてETカートリッジを取り外したときは、定着器部分に触れないでください。
内部は高温（約200度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから40分以上必要です。

使用中にプリンタのBカバーを開けたときは、定着器部分に触れないでください。
内部は高温（約200度）になっているため、火傷のおそれがあります。定着器部分の冷却には、プリンタの電源を切ってから40分以上必要です。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをすることがあります。

本製品の排気には、人体に影響を与えるような物性は含まれておりませんが、お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感じる場合があります。
下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境使用条件外での使用
- 狭い部屋での複数レーザープリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

インストレーションキットの取り付け

インストレーションキットの取り付けは、プリンタの設置の前に行ってください。

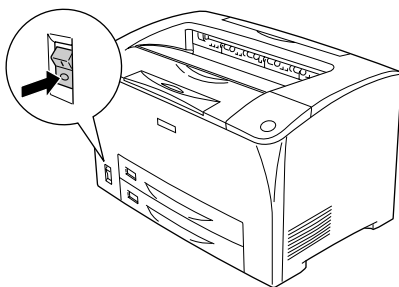
本インストレーションキットのPostScript3のROMモジュールとオプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールを同時に装着することはできません。

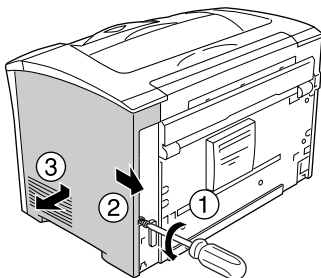
取り付けは以下の手順に従ってください。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

⚠警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり、感電のおそれがあります。指示以外のネジは取り外さないでください。

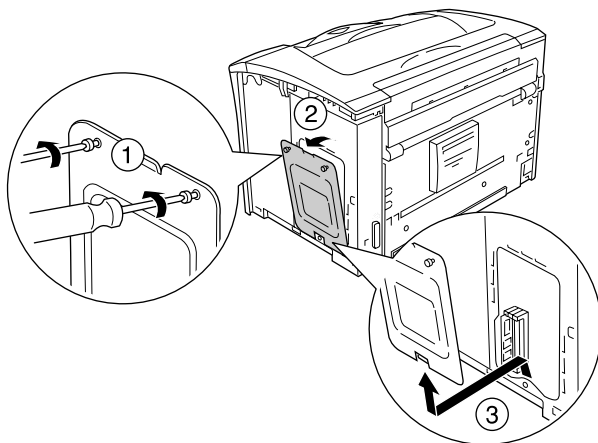
⚠注意 本作業は必ず電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

ROM モジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

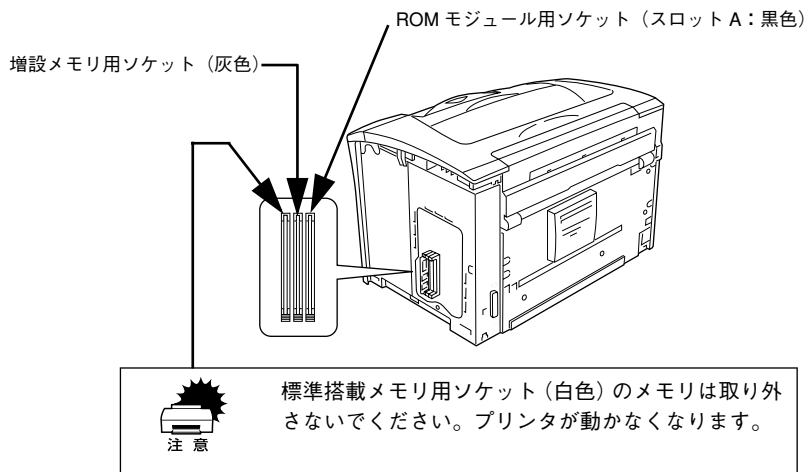
1 プリンタの電源がオフ（○）になっていること、電源ケーブルが取り付けられていないことを確認します。

2 **プリンタ正面から見て右側のカバーを取り外します。**

カバーを固定しているプリンタ背面のネジ（1 個）を左に回して緩めます。さらに、右カバーを後方へ引き出して外側へ取り外します。

右カバーをプリンタ本体から取り外しても、右カバー固定用のネジは右カバーから外れないようになっています。

3 **金属のカバーを取り外します。**

プラスドライバを使用して、止めネジ（2 本）を緩めます。カバーの上側にある切り欠き部を持ち、手前に外します。

止めネジは金属のカバーから外れません。

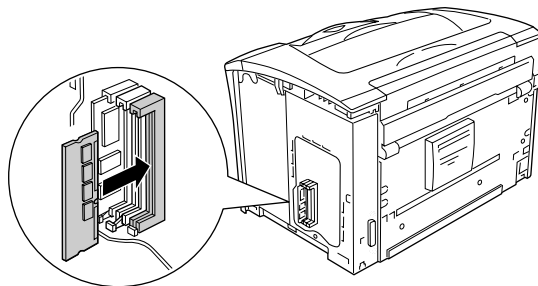
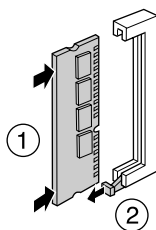
❹ 下図を参照して、ROM モジュール用ソケット（黒色）の位置を確認します。

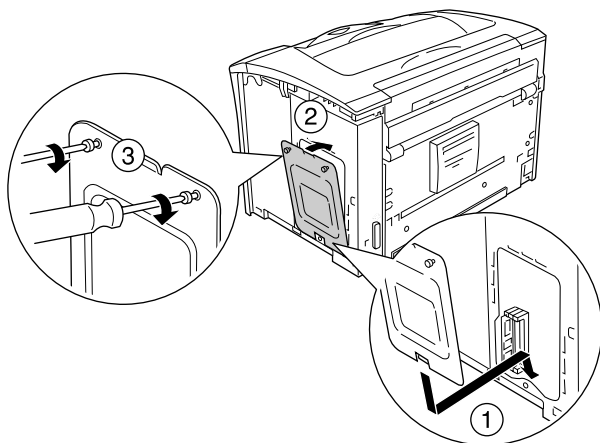
標準搭載メモリ用ソケット（白色）のメモリは取り外さないでください。プリンタが動かなくなります。

❺ ROM モジュールを取り付けます。

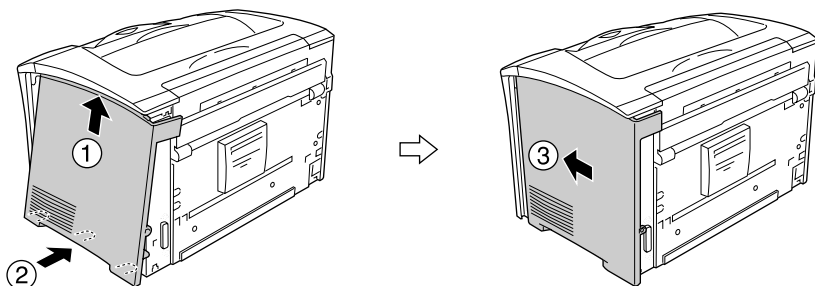
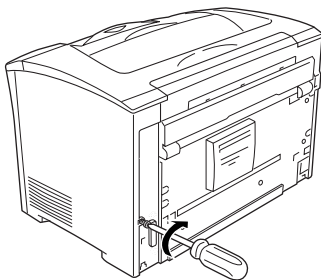
❹ で確認したROM モジュール用ソケットに取り付けてください。

注 意

- 装着する際、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 逆差ししないように注意してください。

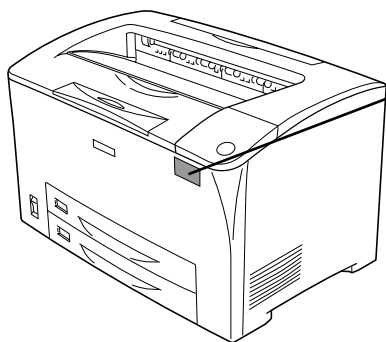
① ROM　モジュール底部のくぼみがソケット内側の凸部分に合うように取り付け位置を決めて、ROM モジュール用のソケットに差し込みます。

② ソケット下側のボタンが飛び出すまで、ROM モジュールの上部両端をゆっくりと均等に押し込みます。

6 **金属のカバーを取り付け、ネジで固定します。**

カバー下側のツメを本体部分に引っかけてから、カバーを取り付けます。2 本のネジでカバーを固定します。

7 **右カバーをプリンタに取り付けます。**

右カバーの上部をプリンタ側にはめ込んで下部を押さえてから、前方へ押し戻して取り付けます。

8 プリンタ背面のネジを締めて、右カバーをプリンタに固定します。

⚠注意	右カバーの固定用のネジは確実に締め付けてください。ネジの締め付けが不十分だと、プリンタの移動や運搬時などに右カバーが外れてけがや損傷の危険があります。

9 Adobe® PostScript® 3™ ステッカーを貼り付けます。

プリンタ本体正面右上に貼り付けてください。

※ アドビシステムズ社に対する使用許諾契約を満たすために必要となります。

この位置にステッカーを貼り付けてください。

10 取り外した電源ケーブルとインターフェイスケーブルを元通りに接続して、プリンタの電源をオン（ | ）にします。

11 プリンタがROMモジュールを正しく認識していることを確認します。

ステータスシートを印刷すると、ROMモジュールが正しく装着されているか確認できます。

☞ ユーザーズガイド（PDFマニュアル）「プリンタの状態や設定値を印刷するには」

ROM モジュールを取り付けた場合、[ハードウェア環境] 欄の [オプション] 項目に [Adobe PostScript3] と印刷されます。

以上でLP-9100専用のインストレーションキットの作業は終了です。

改訂履歴

Revision	改訂ページ	改訂内容	備考
4045980_00	全て	新規制定	